



韓國で5人目のMERS 今度は医師が感染

聯合報 udn.com/news 2015-05-28 03:06 記者陳雨鑫、吳佳珍／台北報導

韓國保健福祉部疾病管理本部は5月27日、同国で5番目の中東呼吸器症候群(MERS)患者が出たが、50代の医師であると発表。同医師は、5月17日から第1例患者の治療にあたっていたという。

韓國で確診された5名の患者中、最初の患者は、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーンを訪問しており現地で感染したのではと疑われているがその他の4人は、夫々、最初の患者の妻、最初の患者と同室に入院していた第3の患者、この患者の娘および今回の医師となる。

韓國当局は、第1の患者と濃厚接触があった64人を隔離し観察をしていた。感染した医師は22日から隔離され、25日に発熱と下痢などの症状が現れた。

我が国疾病管制署の郭旭崧署長は、行政院が昨日六地区の防疫指揮官会議を開催し、感染症に関する渡航者情報のレベルを上げることは現在しないものの、本日防疫関連の医師を韓國に派遣して状況を把握させることにしたと語った。

郭旭崧署長は、「韓國では既に5人のMERS患者が見つかっており、主に患者の入国後に、韓國では最初の段階で発見できず、これにより防疫の好機を逸してしまった。但し、現在MERSのリスクは中東地域が最高度であり、患者やラクダへの接触を避け、手洗いを励行するように注意をする必要がある；韓國に行く旅客にあっては、その必要性を検討するとともに(現地の)病院に行くことは極力避け、手洗いの励行をするなどの予防措置を採る必要がある」と語る。

行政院は、病院に対して感冒患者への注意も含めた防疫措置の強化を要求、患者に対して感染地域への渡航歴の有無を確認、中東や南韓への出入国後に感冒様症状が現れた場合には、診療時に患者が自発的に渡航歴を告げるようにすることなどが必要だとしている。

郭旭崧署長は、「MERSは主に接触感染するものであり、韓國の感染も病院内部に限定しており、いまだに一般社会での感染は出ていないが、もし、韓國の流行が一般社会に広がった場合には、疾病管制署は、防疫措置レベルの引き上げの必要性を評価する。但し、一般社会での感染が引き起こされる割合はそれほど高くないと現段階では評価している」と語った。

<http://udn.com/news/story/6809/929976-%E5%8D%97%E9%9F%93%E5%A2%9E%E7%AC%AC5%E4%BE%8B MERS-%E6%98%AF%E9%86%AB%E7%94%9F>

..... 以下是中国語原文

南韓增第5例MERS 是醫生

聯合報 udn.com/news 2015-05-28 03:06 記者陳雨鑫、吳佳珍／台北報導

南韓保健福祉部疾病管理本部廿七日表示，南韓確診第五名中東呼吸器症候群(MERS)患者，是五十多歲的醫生，曾於十七日診治首名患者。

南韓確診的五名患者中，第一名患者曾前往沙烏地阿拉伯、阿聯與巴林旅遊，疑在當地感染，其餘四人分別為首名患者的妻子、曾與他同住一個病房的第三名患者、第三名患者的女兒以及這名醫生。

南韓當局對與首名患者有過密切接觸的六十四人施以隔離觀察。受到感染的醫生廿二日起隔離，廿五日出現發燒、腹瀉等症狀。

我國疾病管制署長郭旭崧表示，行政院昨天舉行六區防疫指揮官會議，目前不調升旅遊疫情建議等級，預計今天派防疫醫師赴南韓瞭解疫情。

郭旭崧表示，南韓已出現五例MERS病例，主要是病例入境後，南韓未在第一時間發現，以致錯失防疫良機。但目前感染MERS風險仍以中東地區最高，提醒國人赴中東旅遊時，應注意避免接觸病人、駱駝、勤洗手；至於赴韓之旅客，建議其如非必要，應儘量避免前往醫院，並加強洗手等預防措施。

行政院也要求醫療院所加強防疫措施，包含注意感冒患者，詢問是否有旅遊史，出入中東、南韓後若出現類似感冒

症狀，就診時應主動告知旅遊史。

郭旭崧表示，MERS 多為接觸傳染，在南韓的感染僅局限在醫院內，尚未有社區感染，若南韓疫情擴展為社區感染，疾管署將評估是否提高防疫措施，但初步評估發生社區感染的機率不高。

20150528A 韓國で5人目のMERS 今度は医師が感染(聯合報)